

◆◆◆ 第3章 練習問題 ◆◆◆

3.1 <社会経済指標と投票行動> 表 3.13 のデータは、各都道府県ごとにとった、1983 年 12 月の総選挙における自由民主党の得票率、および同年における持ち家比率である。これの散布図を描け。また、相関係数を求めよ。

3.2 <統計的な関連> 現在においては、いろいろ異論はあるが、タバコと肺ガンの間の統計的な関連は、いろいろな研究によってほぼ承認されている。会社員 A 氏はこの結論を聞かされているが、依然としてタバコを吸っている。自分を A 氏の立場に置いてみて、その正当化理由としてどんな言い訳が可能か。また、

表 3.13 1983 年総選挙での自民党得票率と持ち家比率
両変数はある程度相関しているといわれる。

都道府県	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木
自民得票率	41.4	76.3	59.2	51.8	52.5	53.2	62.4	55.0	57.7
持ち家比率	52.8	71.2	72.6	63.7	81.3	81.8	70.9	74.0	73.2

群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
63.2	37.5	48.5	32.4	20.5	47.9	68.9	68.5	52.5	63.3	58.8
72.9	66.7	65.7	43.7	55.5	79.6	85.7	75.3	80.5	73.0	77.0

岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取
59.7	48.4	40.7	51.0	50.9	34.3	25.8	32.1	34.4	55.1	60.3
77.5	69.2	60.0	78.2	79.5	61.8	49.6	59.6	72.1	71.0	76.3

島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎
57.0	45.6	54.2	55.1	55.7	70.3	61.8	47.6	42.5	71.3	55.2
72.8	71.8	60.7	67.0	71.8	71.2	68.3	68.5	54.8	76.0	65.8

熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	全国
65.2	42.9	54.7	62.0	48.2	45.8
69.4	66.9	69.7	71.2	59.6	62.4

(出典：朝日新聞 1983.12.17 付、総理府統計局)

この理由について、反論ないしコメントせよ。

(注) Doll, Hill らの研究が有名。

3.3 <社会的リスクの順位づけ> 表 3.14 のデータは 30 種の技術、社会経済活動、日常行動に対する社会的リスク(社会的にみて危険が伴うと感じる度合)の順位づけである。データはアメリカのもので、四つのグループすなわち(1)は女性有権者団体、(2)は短期大学生、(3)は経営者団体等、(4)は大学教授、研究者、専門職等である。自分で二つのグループを選び、スピアマン、ケンドールの順位相関係数を計算せよ。